



# 仙台商工会議所 平成30年度の取り組み <事業計画 概要版>



「第3期中期ビジョン」

(平成28～30年度)

H28 1年目	H29 2年目	H30 3年目
------------	------------	------------

～地域の賑わい創出・中小企業の課題解決を支援し「仙台・東北」の地方創生を推進します！～

震災から丸7年が経過し、急激な社会環境の変化による様々な経営課題に直面する中、商工業者のニーズに合わせた伴走型の支援や、地方創生に資する新たな施策により関係機関と広域連携を図りながら各種事業を積極的に展開します。

## 【5つの新たな対応施策】

海外展開・新商品開発を含めた  
伴走型による販路開拓支援

大企業承継時代に  
対応する支援体制の強化

働き方改革と  
生産性向上への対応

東京オリンピック・パラリンピック  
を活かした交流人口拡大

都市活力創造に向けた  
まちづくりの検討

### 企業活力

#### 1. 新たなビジネス拡大を目指した販路開拓支援

##### (1) 「伊達な商談会」等の開催による国内外への販路開拓支援

高い成約率を誇る「伊達な商談会」を通じた東北域内企業の販路開拓支援とともに、「東北復興水産加工品展示商談会 2018」による被災沿岸部の広域支援を行います。さらに「三陸ブランド」構築・普及啓発、また、職員の海外派遣による資質向上を図り、関係機関と連携しながら企業の海外販路の展開を支援します。

##### (2) 伴走型経営支援による販路・商品開発力の底上げ

さらなる広域市場への展開を目指し、優れた商品・サービスの開発を目的とした「セミナー」や「商品企画アカデミー」を開催するとともに、伴走型の経営支援により新たな販路・商品開発力の底上げを図ります。

##### (3) 人脈形成によるビジネスチャンスの拡大支援

テーマ別交流会「伊達トーク」や、8,700会員のスケールメリットを活かした「会員交流会」を開催し、ビジネスパートナーの発掘や新たな人脈形成を支援します。



#### 2. 中小企業のニーズに的確に対応した伴走型経営支援

##### (1) 中小企業の持続発展的な経営に向けた計画策定支援

地域企業が持続的に発展するために必要な経営計画の策定と、創業から事業の継続・成長・発展までの段階的ニーズに応じた支援を行います。

##### (2) 資金調達や専門家派遣等のサポートメニューの充実により経営力強化を支援

各種の融資制度（マル経等）や専門家派遣事業、小規模事業者持続化補助金やものづくり補助金等の申請支援など、「経営革新等認定支援機関」として経営力強化を支援します。

##### (3) 大企業承継時代に対応する支援体制の強化

地域事業者の減少による雇用機会・技術ノウハウ等の喪失・地域経済の衰退を防ぐため、「事業承継センターの設置」など、事業承継に向けた支援体制の構築と支援内容の拡充を図ります。

##### (4) 消費税軽減税率（2019年10月導入予定）への対応と転嫁対策支援

消費税率10%への引上げに伴う軽減税率導入や適正転嫁など、経営環境の変化に対応するため、相談窓口の設置やセミナーの開催、「ビジネスアプリの導入」、「レジ補助金の申請」等の支援事業を推進します。

#### 3. 中小企業の働き方改革と生産性向上実現に向けた支援

##### (1) 人材不足解消に向けた地元企業への就職支援

会員企業の人事担当者や大学等の就職指導担当者による「就職情報交換会」の複数開催や、経営者の想いや魅力を共有する「学生と若手経営者による交流会・職場体験」事業を開催し、学生の地元定着率を向上させ、仙台が東北からの人材流出を防ぐダム機能を果たせるよう努めます。

##### (2) 働き方改革への対応・IT活用促進など生産性向上支援

働き方改革の制度説明や中小企業が活用できるAI（人工知能）やIoT（モノのインターネット）Fintech（金融とITの融合）等の情報提供をはじめ、省力化・低コスト化を推進し企業の生産性向上を支援します。

##### (3) 企業の競争力向上のための人材育成支援と多様な人材活用の推進

多様な人材（若者、女性、高齢者、外国人等）の活用や階層・職種別セミナーの開催、ビジネスに直結する簿記・ビジネスマネジャーなどの検定試験を実施し、人材育成を支援します。

##### (4) 企業の福利厚生充実による健康経営の実現を支援

各種共済制度の活用により、賠償責任・労災・連鎖倒産などの経営リスクへの取り組みや、福利厚生の充実による雇用安定化と企業の健康経営の実現をサポートします。

### 地域力

#### 4. 仙台的都市力向上と東北一体となった広域観光の推進

##### (1) イン・アウト双方向によるツーウェイツーリズムの実践

交流人口拡大を目指し、仙台七夕まつりや仙台初売り、プロスポーツなど仙台固有の魅力や留学生の視点を活用した情報発信と、商店街や飲食業界における受入体制の整備・拡充を図り、リピーター獲得に努めます。あわせてパスポート取得率向上や海外教育研修旅行の促進など、アウトバウンド拡大を支援します。

##### (2) 仙台空港・仙台国際貿易港の機能強化

仙台空港における定期路線新設や東北各地とのアクセス強化などを進めて、さらなる機能拡充を図り、東北一円からの利用を推進します。約6haのコンテナヤード拡張工事が進む仙台国際貿易港においては、利便性を国内外に広くアピールし、利活用拡大に努めます。

##### (3) 伊達文化の活用

藩祖伊達政宗公の歴史・文化の再発掘や磨き上げを通じて、市民・経済界における理解増進を図り、伊達ブランドを一過性ではなく継続的な活動に活かすことで仙台のシティセールス強化につなげます。

##### (4) 東北の元気を発信する一体的なプロモーション活動の実施

復興五輪とされる2020年東京オリンピック・パラリンピックや「東北絆まつり 2018 盛岡（6月2日・3日）」を通じて、世界中に震災復興への感謝の気持ちと東北・被災地の元気な姿を発信できるよう、東北一丸となったプロモーションを実施します。



#### 5. 地域づくり・まちづくりの推進

##### (1) 新たな賑わいの創出や都市力向上の検討

「(仮称) 仙台まちづくり推進委員会」を設置し、「青葉山公園（仮称) 公園センター」の建設や市庁舎の建替え、音楽ホールの新設計画などを契機とした、定禅寺通や青葉通の活性化、都心エリアの回遊性拡大に資する仙台の将来を見据えたまちづくりについて検討します。

##### (2) 商店街活性化支援

中心市街地のエリアマネジメントを行う「仙台市中心部商店街活性化協議会」等への参画や、地域コミュニティと防災・防犯の担い手である周辺商店街への巡回・活性化支援事業等を強化するとともに、課題共有や連携の場を提供し、魅力あふれるエリア形成を支援します。

##### (3) 学都まちづくりの推進

都心エリア活性化「新学都仙台提言」に基づいて、市立病院跡地への学術交流拠点の整備促進を図ります。仙台都心エリアの大学と商店街、地域住民、産業界との対話・連携を強化し、若者が集う学都仙台としての魅力向上を目指します。

##### (4) 幅広い分野での応用が期待される放射光施設の早期実現

新たな研究機関や産業の集積が期待される放射光施設の実現に向けて、産学官一体となった支援策を実施します。

### 組織力

#### 6. 地域総合経済団体としての政策提言・要望活動

##### (1) 地域、中小企業のニーズに即した政策提言

中小企業振興・地域経済活性化（税制改革、規制・制度改革等）、経済活動の基盤となるインフラの整備や利用促進、産業・技術の集積に寄与する国際リニアコライダー（ILC）の誘致実現に向けた要望を実施します。

##### (2) 被災地の実状を踏まえた着実な復興実現

東北を代表する地域総合経済団体として、震災からの本格復興や、風評払拭に向けた農水産品に対する輸入規制の撤廃等の要望を実施します。



#### 7. 組織強化と財政基盤強化、会員ニーズを反映した事業

##### (1) 会員拡大によるスケールメリットを活かしたサービスの充実と組織力の強化

会員ニーズを反映したより良いサービスを継続的に提供していくため、10,000会員を見据えた全組織（役員・議員・職員）一体による会員組織・財政基盤の強化を図ります。

##### (2) 会員満足度の向上

全職員による継続的な会員訪問等を通じ、会員ニーズを把握し、効果的なサービス事業の充実を図り、会員満足度の向上に努めます。

##### (3) 情報発信力の強化

月報『飛翔』やホームページ・SNS・各種メディア等を活用した会員・地域社会に対する情報発信力を強化し、商工会議所への理解増進、サービスの利用促進に努めます。

##### (4) 多様なステークホルダーによる組織運営

役員・議員、若手経営者・女性経営者等参画による活発な組織運営を実践します。

##### (5) 第4期中期ビジョンの策定

役員・議員の意見を集約し、2019年度以降の事業や目指す方向性の指針とする中期ビジョンを策定します。